

【聖書箇所 요약】

イエス様は弟子たちを待避させましたが、群衆が追いかけてきました。イエス様は彼らをあわれみ、2匹の魚と5つのパンで5千人の人たちに食事を与える奇跡を行われました。

1. 人を休ませるイエス

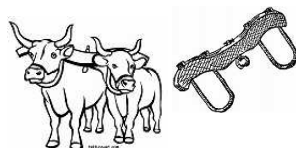
(31節)

A. 弟子たちは忙し過ぎた

- (1) 自分たちがしたことや教えたこと
- (2) 仕事をしている時の充実感
 - ・ 食事をする暇がなくても不満を感じない

B. 休みに満ちたイエス

- (1) 旧約の安息日の意味
 - a. 労働の休止 (出エジプト記20:10)
 - b. 奴隷から解放して下さった神を見上げる (申命記5:15)
- (2) 新約の休みと労働
 - a. キリストの平和の中にいる
「ところがイエス自身は、舐の方でまくらをして、眠っておられた。」 (マルコによる福音書 第4章38節)
 - b. キリストのくびきを共に負う
 - ・ 共同の相続人 (ローマ8:17)



2. 人をあわれむイエス

(34節)

A. 大ぜいの群衆をごらんになり

- (1) キリストは私たちに目を注いでおられる
- (2) 必要を見出す眼差し



B. 飼う者のない羊のような有様

- (1) 羊の特徴 → 武器を持たない。近眼。太ると危ない。
- (2) 羊飼に導かれ、充足して生きることが神の標準
「主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない。」
(詩篇 第23篇1節)
- (3) 標準より遙か下の状態の羊 → 罪ある人間の状態



C. 深くあわれんで

- (1) はらわた (腸) から起こる「あわれみ」
 - a. ヘブル的思考では、あわれみは腸 (はらわた) にある。
 - b. 「はらわたがかきむしられる思い」という日本語の表現
- (2) 神のあわれみは霊的に無知な人にも施される
 - a. 滅びの淵にいながらためらうロトに対して (創世記19:16)
 - b. 自分を十字架につける人へのとりなしの祈り (ルカ23:34)

3. 天から力を受ける

(41節)

A. 五つのパンと二ひきの魚

- (1) あなたに今あるものから始める
・からし種一粒ほどの信仰 (マタイ17:20)

- (2) 神は捧げた人をお用にされる

B. 神におまかせする

「イエスは五つのパンと二ひきの魚とを手に取り、天を仰いでそれを祝福し」

C. 聖霊の導きの中を生きる

- (1) 内住の聖霊 (Iコリント6:19)

- (2) 逃れの道が用意されている恵み

「あなたがたの会った試練で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試練に合わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである。」

(コリント人への第一の手紙 第10章13節)



今日の
ポイント

神のあわれみがあって初めて人生は動き出します。キリストの休みの中で平安を得、聖霊の声に聞き従い、天からの力で生きて参りましょう。

祈禱会説教

イエスに出会った人々シリーズ (その23)

神のあわれみ

31 するとイエスは彼らに言われた、「さあ、あなたがたは、人を避けて寂しい所へ行って、しばらく休むがよい」。それは、出入りする人が多くて、食事をする暇もなかったからである。

34 イエスは舟から上がって大ぜいの群衆をごらんになり、飼う者のない羊のようなその有様を深くあわれんで、いろいろと教えはじめられた。

41 それから、イエスは五つのパンと二ひきの魚とを手に取り、天を仰いでそれを祝福し、パンをさき、弟子たちにわたして配らせ、また、二ひきの魚もみんなにお分けになった。
(マルコによる福音書 第6章31節、34節、41節)

28 すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのものにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

29 わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

(マタイによる福音書 第11章28節～29節)



2018

11/21

説教

丸山 芳浩 師

